

集落活動センターゆすはら西（栲原町）



開設時期	平成29年3月19日
運営主体	集落活動センターゆすはら西推進委員会 特定非営利活動法人ゆすはら西
構成集落	仲間、上西の川、下西の川、竹の藪、広野、宮野々、上成、松谷
人口・世帯数	548人、321世帯（R8.2.28時点）

地域の自慢
西区は延喜13年（913年）、津野経高公が栲原町内で最初に居を構えた歴史ある地区です。また、古くから猟師さんが多く住む地区でもあり、ジビエ事業を中心とする持続可能な地域経済の構築を達成しつつあります。

○ 地域のこれから

『ゆすはらジビエの里』は設立8年目を迎え、経営も安定してきました。補助金に頼らない自立経営を達成しつつあります。

今後は収益事業に加え、夏祭りの復活やキャンプ場の魅力向上など、経済面と生活面の両面から地域の活性化に取り組んでいきます。

拠点施設
情報

獣肉解体処理施設ゆすはらジビエの里
（高岡郡栲原町広野171）
0889-65-0850



○ 主な活動内容

<『ゆすはらジビエの里』運営>

- 高知県内でジビエになる捕獲鳥獣のうち、なんと約40%（400頭：令和6年度）が『ゆすはらジビエの里』で加工されています。
- 搬入された猪と鹿は、精肉やアヒー、ジヨ缶詰、ソーセージなどのジビエグルメに美味しく調理され、町内外の小売店などで購入できます。



<鳥獣害に強い集落づくり>

- 猟友会との連携による有害鳥獣駆除と、集落営農による耕作放棄地対策を通じた里山の環境づくりとの両面から、鳥獣害対策に取り組んでいます。
- 県・町から有害鳥獣対策の業務委託を受けており、委託料収入を地域に還元しています。

<キャンプ場『ふらっと』>

- 四万川川を臨む川べりのキャンプ場です。
- 調理場・トイレ完備！
- 1100年前に宮野々で野宿をした(はずの)津野経高の気分が味わえるかも？



○ 活動への思い

「動物の命を無駄にしたくない」という猟師さんたちの思いをきっかけに、住民と移住者が力を合わせてジビエ事業を立ち上げ、地域雇用を守り地域活性化に繋がっています。

中岡 廣年

